

確認事項

*競技上の注意

1. 現行の、日本卓球ルールを適用します。
注 (ア) 促進ルールについての理解をしておいてください。
(イ) 使用禁止になったラバー、グルー、接着補助剤等の使用は出来ません。
(ウ) **E N E T S、ラバー厚み等の検査をおこないます。**
2. サービスやバッドマナーなどについては、各校で徹底しておいてください。

*進行上の注意

1. 学校対抗でベンチに入るのは、登録された監督1名、選手8名です。
2. ベンチに入ることの出来る監督は、その学校の校長が認めた指導者に限ります。
必ず、監督章をつけてください。
3. 学校対抗でのアドバイスは、ベンチに入っている者の誰からでも受けることが出来
ますが、極力手短かに済ませてください。(1分以内)
(相手の選手がコートについておれば出来るだけその選手に合わせてください)
4. 原則として相互審判ですので、トラブルのないよう、ルールを熟知して試合に臨ん
でください。判定に困ったときは、当該審判が審判長に相談してください。
5. 各種目とも準々決勝以降は開催地の社会人公認審判員が担当します。
(各種目とも準々決勝以降は、タイムアウトをとることができます。)
6. **メンバー変更は所定の用紙に記入の上、開会式前(8時50分までに)各府県の
専門委員長を通じて、審判長席まで提出してください。**
7. **1回戦のオーダー提出は、男女共8時55分までとします。**
8. 試合の結果報告は次のようにします。
学校対抗は 勝ったチームが試合結果(記録用紙)を持って進行席に報告する。
(記録用紙の控えをそれぞれ持ち、No.1の記録用紙のみ進行席へ戻す)
個人戦は 敗者が試合結果(記録用紙)を持って進行席に報告し、後、敗者審判。
(記録用紙の控えをそれぞれ持ち、No.1の記録用紙のみ進行席へ戻す)
9. 学校対抗、ダブルスのユニフォームは必ず揃えること。
10. 現行のルールで「ボールの選択は競技場の外でおこなう」とありますが、今大会は
競技場内のコート上に用意されたボールを使用してください。
ボールの交換が必要なときは、進行席に申し出てください。
11. 原則として、タイムテーブルに従って進行しますが、空きコートがあれば **予定を
変更して進行しますので、放送に注意してください。**
12. ラバーの張替えは必ず指定された場所で行うこと。(注:プログラム会場図)

*会場使用について

1. 競技フロア内でのビデオ撮影は禁止します。
2. 体育館内でのビデオバッテリーの充電は禁止します。
3. **競技場内での選手の水分補給について**
会場係より、館内での飲食についての注意を行ないますが、選手の水分補給という
点から特例として、倒れたときに床にこぼれないように(キャップつきなど)配慮
される場合のみ認めます。
4. フロアはすべて**上履き**です。
5. 貴重品は、各学校で責任を持って管理してください。
6. **ゴミ**は各自で持ち帰ってください。
7. **弁当ガラ**(業者で販売したもののみ)は、玄関ロビーの所定の場所に置いてください。
(午後2時30分から午後3時30分の間に)